



鯉と水車と花飾りの水辺



手づくりの水車の前で



草の根の日韓交流

雨森地区は、戸数110戸余り人口470人ほどの琵琶湖の辺りの小さな農村である。

昭和59年(1984)に、県の「小さな世界都市づくりモデル事業」の採択を受けて、ヒノキ造りの書院風建物雨森芳洲庵(東アジア交流ハウス)が誕生した。建物に名前を冠されているのは、江戸時代中期、対馬藩の朝鮮外交・貿易などに活躍した儒学者で、この地の出身者である国際人・雨森芳洲である。雨森地区では、芳洲の心を受け継ぐ国際交流として、昭和63年(1988)以来、韓国の中・高校生を招き、地区の民家がホームステイを引き受け、草の根の交流を実践している。

地域の活動としては、20年以上も前から集落の中を流れる水路を中心とした良好な快適環境づくりを住民総参加で継続し、魅力の創出と保全活動によるまちづくりを進めている。集落内にはコイやフナが泳ぎ水車が回り、花のあふれる水路など、心のなごむまちづくりになっている。その成果は全国アメニティーコンクール最優秀賞を受賞するほどで、小さい農村ながら全国にその名を知られている。美しく整った風景に、全国から年間1万人もの人々が川めぐりや郷土づくりのヒントを求め訪れている。その中には、海外からの来訪者も多く郷土の魅力を世界にも発信している。

- ① 滋賀県伊香郡高月町雨森
- ② ・ JR北陸本線高月駅から徒歩25分
・ 北陸自動車道木之本ICから車で10分
- ③ 雨森芳洲庵、向源寺、大海道遺跡、北近江の湯、高月町役場
- ④ 5月 こいのぼり祭り
街づくりコンクール、韓国芸能サムルノリの演奏
- ⑤ 地域住民による花壇の整備、鯉の放流、水車作り、清掃活動
<http://www5.ocn.ne.jp/housyu/> (雨森区)
- ⑥ 高月町地域整備課
電話番号 0749-85-6406

